

## — 千葉大学調査研究報告書（概要） —

★ わんぱく天国開園以来の目的である「子どもが自由にのびのびと遊べる冒険遊び場（プレーパーク）」として理想的な環境を整える。

例)・小学生にとって魅力的な遊び場である

- ・子どもが遊具製作から関わりを持つ
- ・挑戦したくなる要素がある
- ・空間的な大きさがある

Ⅰ 施設改修について

大規模改修を一括で行うのではなく、長期的・持続可能的に子どもや地域住民、プレーリーダーが実際に手を加えながら、新たなわんぱく天国を創っていく（改修する）ことが重要である。

調査研究の結果においても、子どもが遊具製作等から関わりを持つことで、わんぱく天国に「居場所」としての認識を持ってもらうことに効果があるとわかった。

Ⅱ 運営体制等について

管理運営体制の整備・構築も必要であり、現在の有償ボランティアに依存した運営方法（区直営）では限界を迎えており、地域をよく理解し、専門的なスキルを持つ組織にアウトソーシングすることがわんぱく天国の活性化につながると考えられる。また、ジュニア・リーダーやサブ・リーダーの育成に関わっているスタッフがわんぱく天国にボランティア等で関わるつながりを生み出すことで、社会教育施設としての特性に付加価値が生まれ、墨田区の独自性が発揮されると考えられる。

# － 参考（イメージ図）－



図1：子どもたちの手によるあそび環境が構築されたイメージ

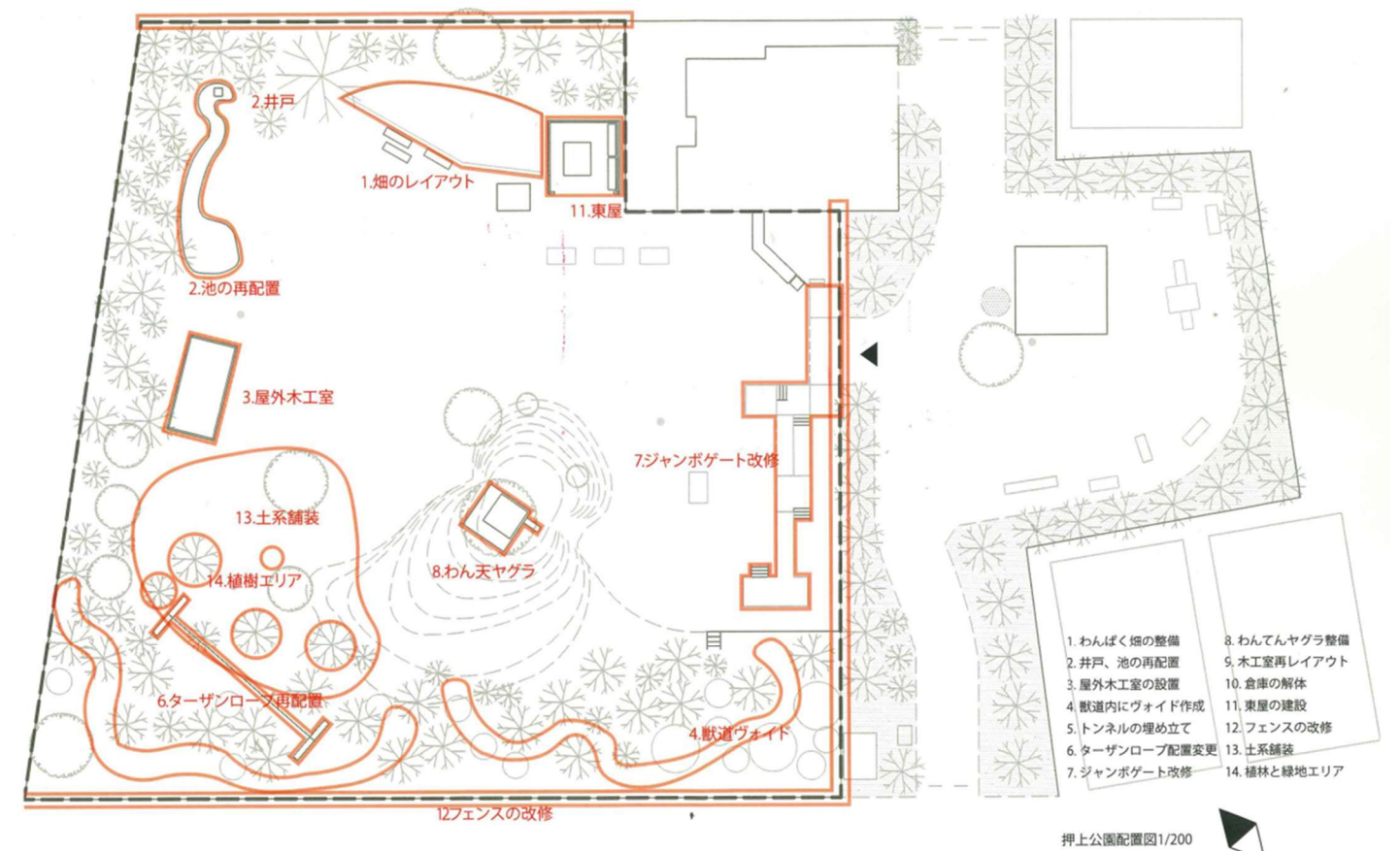


図2：平面図（配置案）

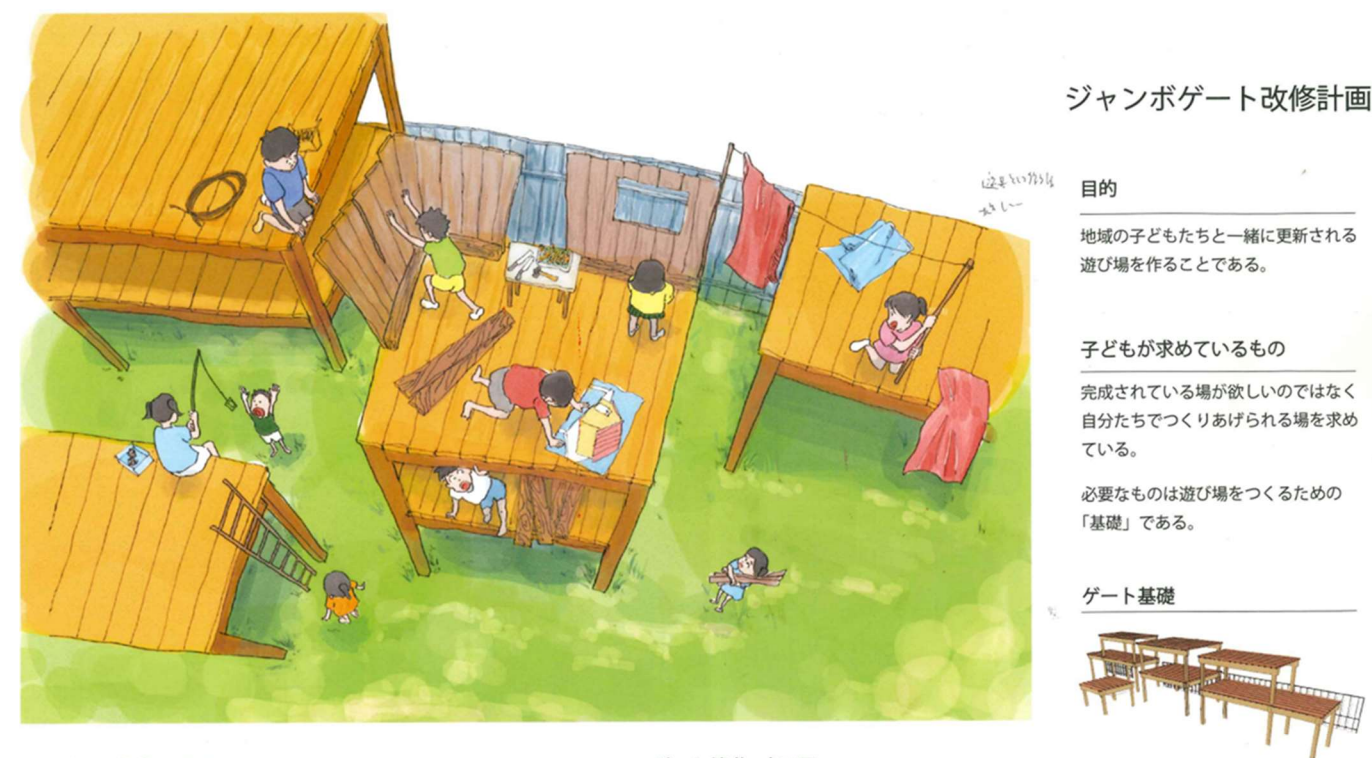


図3：ジャンボゲート改修案

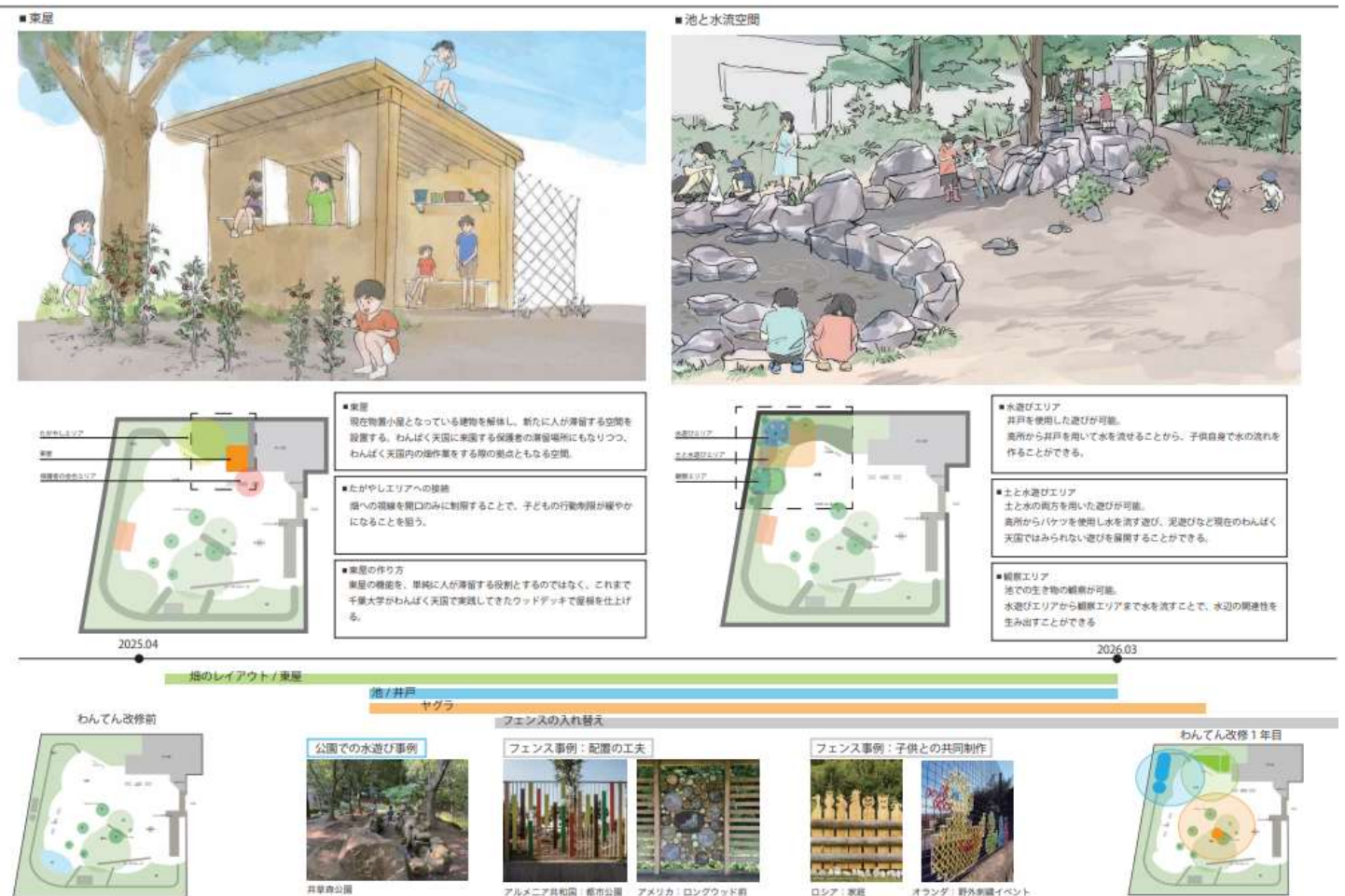


図4：イメージスケッチ（東屋、池・井戸、フェンス）